

# 信州「医療DX」加速事業

～教育・研究・診療から地域医療連携まで～

## 現状・課題

### ▲ 経営基盤の危機

急激な物価高騰・人件費増を背景に経営状況が大幅に悪化。従来の経営方針からの脱却が急務。

(R7年度：**15億円超の赤字見込**)

### ▲ リソースの枯渇

診察業務に追われ、大学病院の使命である教育・研究に割く人的資源が不足。

### ▲ 長野県との連携不足

医師少数地域への医師派遣数は全国トップレベル。しかし、県と連携しての医師派遣ではなく効率的な医師配置でない。

## 医療DX加速による構造改革 (病院改革プラン：医療情報の戦略的活用)

### ① 病院資源の教育研究へのシフト

#### 手術室DX：手術室の強化

手術管理システム導入で稼働を最適化。  
**手術件数の増加**。在庫管理徹底による**費用削減**。**新人看護師の早期戦力化**。

#### 分析基盤DX：臨床研究力の強化

臨床情報分析支援プラットフォーム導入による**研究時間の創出**。レガシー化した電カル連携システムの更新による**医療情報の活用**。

#### タスクシフト/シェア推進

ドクターズクラークの有期雇用化による**教育・研究時間の創出**。

### ② 地域医療情報連携の強化

#### 地域連携DX： 地域医療情報連携ネットワークの強化

診療情報提供システム改修による地域医療情報共有の促進。  
**地域医療の底上げや医療人育成を促進**。

#### 長野県との連携

長野県と連携し、診療情報提供システムを普及。**医師の適正配置（医師派遣）等を促進**。

## 期待される成果

- 勤務時間における診療業務から教育研究業務への割合増加

36% (R6) → **約38%** (R11)  
1日30分の教育研究時間増加

- 医師派遣数の維持

228人 (R6) → **230人** (R11)  
全国トップレベルの派遣医師数を維持

- 一般病床100床あたりの手術件数

1,205件 (R6) →  
**1,346件** (R11)  
平日1日1件の手術件数増加

- 臨床研究数の増加

14件 (R6) → **18件** (R11)  
現研究数を維持しつつ年間1件増加

- 診療情報提供システムの  
利用数増加

1,930件 (R5) →  
**2,650件** (R11)  
年間利用数を毎年約1割ずつ増加

地域医療情報連携  
ネットワークの促進

効率的な  
医師配置

## 地域医療連携プラットフォーム（協議の場）

- ・信州大学と長野県との協議の場。
- ・長野県地域医療構想を実現。

高度医療人材の  
育成、派遣

遠隔診療

がんばろう  
信州！

長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ



×  
協定締結

